



国立研究開発法人

国立成育医療研究センター

National Center for Child Health and Development



CAYA支援チームの成り立ちとチーム構成職種

• Mission

- 小児・思春期・若年成人(CAYA世代)の“小児がん”患者や造血細胞移植患者、および小児がん/移植経験者が抱える、さまざまなニーズに対し、職域を超えた全人的ケアが行き届くようコーディネートする

• Vision

- NCCHDおよび関東甲信越を中心としたわが国のCAYA世代の小児がん患者や造血細胞移植患者、および経験者が、発達や理解度に応じた本人の参加のもと、疾病・闘病に関連した問題や治療後の問題の管理を行いながら満足度の高い生活を送る

- コアメンバー（窓口） 医師（小児がんセンター、小児専門診療科、緩和/総診）、歯科医
看護師（小児専門Ns、がん化学療法認定Ns、緩和ケアNs）
薬剤師、リハビリOT/PT/ST、社会福祉士(MSW)、心理士
チャイルド・ライフ・スペシャリスト
- サポートメンバー（必要時） 院内学級教師、総合診療部、地域連携、遺伝診療科、産婦人科、



院内学級（小・中・高）



復学カンファレンス



こどもサポートチーム・カンファ



長期フォローアップ外来

主な活動

① CAYA病棟で無菌室稼働開始

(転棟せずにCAYA病棟で移植ができるようになりました)

新年あけましておめでとうございます

いつも小児がん治療に御理解をいただき、ありがとうございます。
 無菌室稼働して、平成30年秋に2基の移植室を稼働して
 不承不承のご対応、今年も7割の移植室稼働を期待
 いたします。この2基に、移植のいい場所の稼働
 の開始とさせていただきます。本館にお越しの際は、
 平成30年、私達の2日稼働したいと考えております。
 この2基は、お話し合いの過程、お話し合いです。

平成31年元旦



国立成育医療研究センター
 小児がんセンター長 松本公一 研



② CAYA病棟に自習机コーナー設置



③ こどもサポートチーム活動

④ 生殖機能リスク・チェックシート作成

⑤ 長期フォローアップ外来

⑥ ライフタイム・コホート調査

⑦ AYA支援多職種連携ワークショップ

(成育主催、清水班共催)

第3回小児緩和ケア 多職種連携ワークショップ
考える！できる！！高める！！ AYA世代への支援

開催日時：2019年3月16日(土)13:00～17:30(12:30受付開始)

開催場所：聖路加国際病院 臨床学術センター 3301号室
 〒104-0045 東京都中央区築地3-6-2

定員：80名
 (定員を超えた場合は調整させていただきます。)

参加費：無料
 (茶菓子代として500円)

内容：

- 1) 症例検討
- 2) 多職種によるグループディスカッション
- 3) ワールドカフェ
 「AYA世代の患者と関わる時に大切にしていること」
- 4) レクチャー
 「AYA世代がん患者のこころのケア」
 国立がん研究センター中央病院 精神腫瘍科 清水 研 先生

申込方法：別紙申込書をFAXにて、またはメールに必要事項をご記入の上、以下のメールアドレスにお送り下さい。

申込締切：2019年1月25日(金)

主催：国立成育医療研究センター
 主幹：東京都立小児総合医療センター
 共催：埼玉県立小児医療センター
 神奈川県立こども医療センター
 東京小児がん研究グループTCOSG
 H30年度 厚生労働科学研究費補助金(がん対策推進総合研究事業)(清水班)
 思春期・若年成人(AYA)世代がん患者の包括的ケア提供体制の構築に関する研究班

お問い合わせ先
 関東甲信越地域小児がん医療提供体制協議会事務局 担当：平賀
 住所：〒157-8535 東京都世田谷区大蔵2-10-1
 電話：03-3416-0181(代表) FAX:03-5494-7682 E-mail:aksseshounigan@ncchd.go.jp

2019年度以降の活動の目標と課題

- CAYAがん患者のニーズの把握
- CAYAがん患者のニーズへの対応とサポートの充実
- がん・生殖医療の対象の拡大
- CAYAがんサバイバーの長期フォローアップと
- CAYAがんサバイバーのサポート、トランジション体制の充実
- CAYAがん患者の相談支援の充実